

恐竜のまち

広報 かつやま

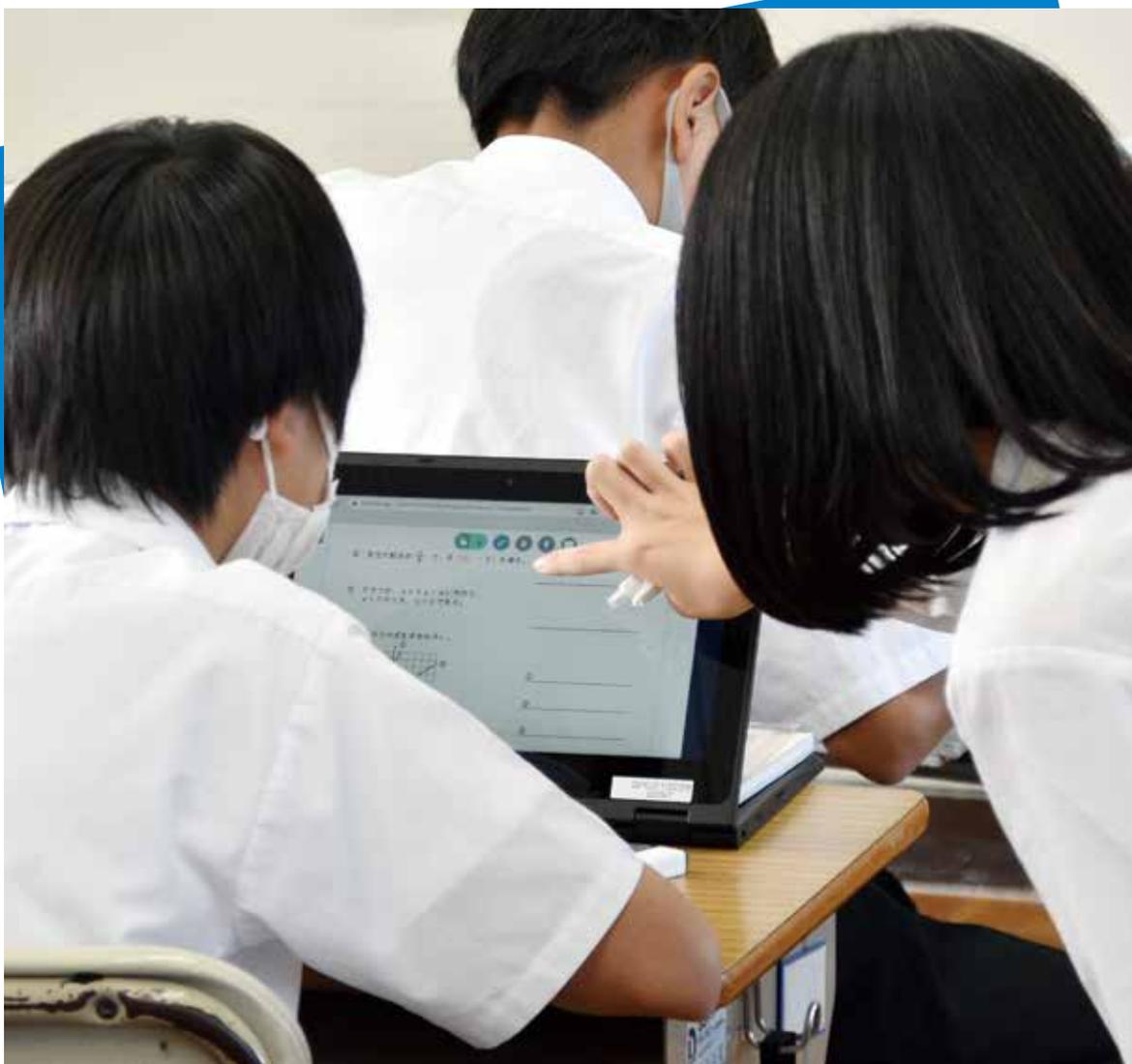
Dinosaur city KATSUYAMA

10月号

2021

特集

GIGA スクール構想
広がる学びの世界



市内小中学校ではタブレット端末を
活用した授業が行われています

新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお知らせ

接種費用
無料

岡勝山市コールセンター（すこやか内） ☎64-5543

LINE予約受付はこちら



新型コロナウイルスワクチン接種状況（10月9日現在）

ワクチン接種は、家族や友人、職場の同僚など周囲の人の命と健康を守ることにつながります。12歳未満の子どもたちは、ワクチン接種を受けることができません。子どもたちを新型コロナウイルス感染から守るためにも、周囲の大人や家族の方は早めのワクチン接種をご検討ください。

対象年齢 ※今年度中に達する年齢	対象者数	予約済者数	1回目接種済者数	2回目接種済者数
65歳以上	8,650人	7,839人(90.6%)	7,839人(90.6%)	7,659人(88.5%)
60歳～64歳	1,631人	1,532人(93.9%)	1,532人(93.9%)	1,502人(92.1%)
50歳～59歳	2,569人	2,369人(92.2%)	2,369人(92.2%)	2,261人(88.0%)
40歳～49歳	2,638人	2,312人(87.6%)	2,312人(87.6%)	2,172人(82.3%)
30歳～39歳	2,067人	1,667人(80.6%)	1,667人(80.6%)	1,421人(68.7%)
20歳～29歳	1,746人	1,442人(82.6%)	1,442人(82.6%)	916人(52.5%)
12歳～19歳	1,431人	1,133人(79.2%)	1,130人(79.0%)	984人(68.8%)
合計	20,732人	18,295人(88.2%)	18,291人(88.2%)	16,915人(81.6%)

コールセンター受付時間変更

新型コロナウイルスワクチンに関する問い合わせ先である勝山市コールセンターの受付時間を10月23日(土)から下記のとおり変更します。

曜日	受付時間
月曜日～金曜日	午前9時～午後5時
土曜日	午前9時～正午
日曜日・祝日	電話受付を休止

STOP!! コロナ差別

感染者や濃厚接触者を過剰に避けたり非難する差別や偏見が生まれています。正しい知識をもとに、感染者とその家族に思いやりを持って接しましょう。 岡みんなの人権110番 ☎0570-003-110

11月からの個別接種実施機関

11月から個別接種を実施する医療機関が下記のとおりとなります。予約については、これまでどおりコールセンターおよびLINEで受け付けします。

曜日	医療機関
月曜日	たけとう病院
火曜日	わかばやしこども内科クリニック
水曜日	木下医院
木曜日	クリニカ・デ・ふかや
金曜日	福井勝山総合病院 河北小児科医院
土曜日	芳野医院

1

勝ち山飯お座敷体験 実施期間の延長

お座敷料理を楽しめる市内対象店舗で4,000円以上の食事をした場合に勝山市民1人あたり2,000円の割引を行う勝ち山飯お座敷体験事業の実施期間を10月31日(日)まで延長します。

この機会にお座敷料理をぜひご体験ください。

※現在、勝山市民1人以上を含む3人または4人のグループが対象になります

「PayPay」を利用したポイント還元キャンペーンの第2弾を実施します。実施期間中に対象店舗で「PayPay」を利用すると、最大20%のPayPayボーナスが付与されます。

実施期間▶11月1日(月)～30日(火)まで
決済1回あたりの付与上限額▶1,000円相当
実施期間中の付与上限額▶合計1万円相当

3

最大20%戻ってくる PayPayキャンペーン

2

勝ち山飯プレミアム付 お食事券を販売

市内対象飲食店で利用できるプレミアム付きお食事券(第2弾)を販売します。

販売価格▶1万円で1万3,000円分(1,000円×10枚、500円×6枚)食事券を購入可能

利用期間▶11月1日(月)～3月31日(木)

販売場所▶サンプラザ、道の駅、市内一部酒屋、市内郵便局、勝山市役所

※郵便局、市役所は11月1日から、それ以外は10月30日から販売開始

新型コロナウイルス
感染症対応 地域経済対策

飲食で
買い物で
宿泊で
地域を元気に

商工観光・ふるさと創生課
(市役所2階) ☎88-8105

楽天トラベルを利用して市内対象宿泊施設を予約する場合に宿泊料金を割引します。

予約受付期間▶11月1日(月)～1月28日(金)

宿泊対象期間▶11月1日(月)～1月31日(月)

割引額▶5,000円以上の宿泊で2,000円の割引
1万5,000円以上の宿泊で6,000円の割引
3万円以上の宿泊で1万2,000円の割引
※1予約1室あたりの割引額



こちらで
11月1日10時から受付開始

4

「勝ち山」宿泊割引 キャンペーン



コロナ禍における地域住民の健康づくりや暮らしの充実に役立ててほしいと、明治安田生命保険相互会社から、50万2,000円のご寄附をいただきました。

ご寄附
ありがとうございました

「第6次勝山市総合計画(骨子案)」 ご意見を募集します!

市民の皆さまよりいただいたご意見・ご提案を踏まえ、「第6次勝山市総合計画の骨子(案)」を作成しました。骨子(案)について皆さまからのご意見をお待ちしています。

※ご意見は郵送またはメール(kikaku@city.katsuyama.lg.jp)にて受け付け中です

圏未来創造課(市役所2階) ☎88-1115



詳細はこちら

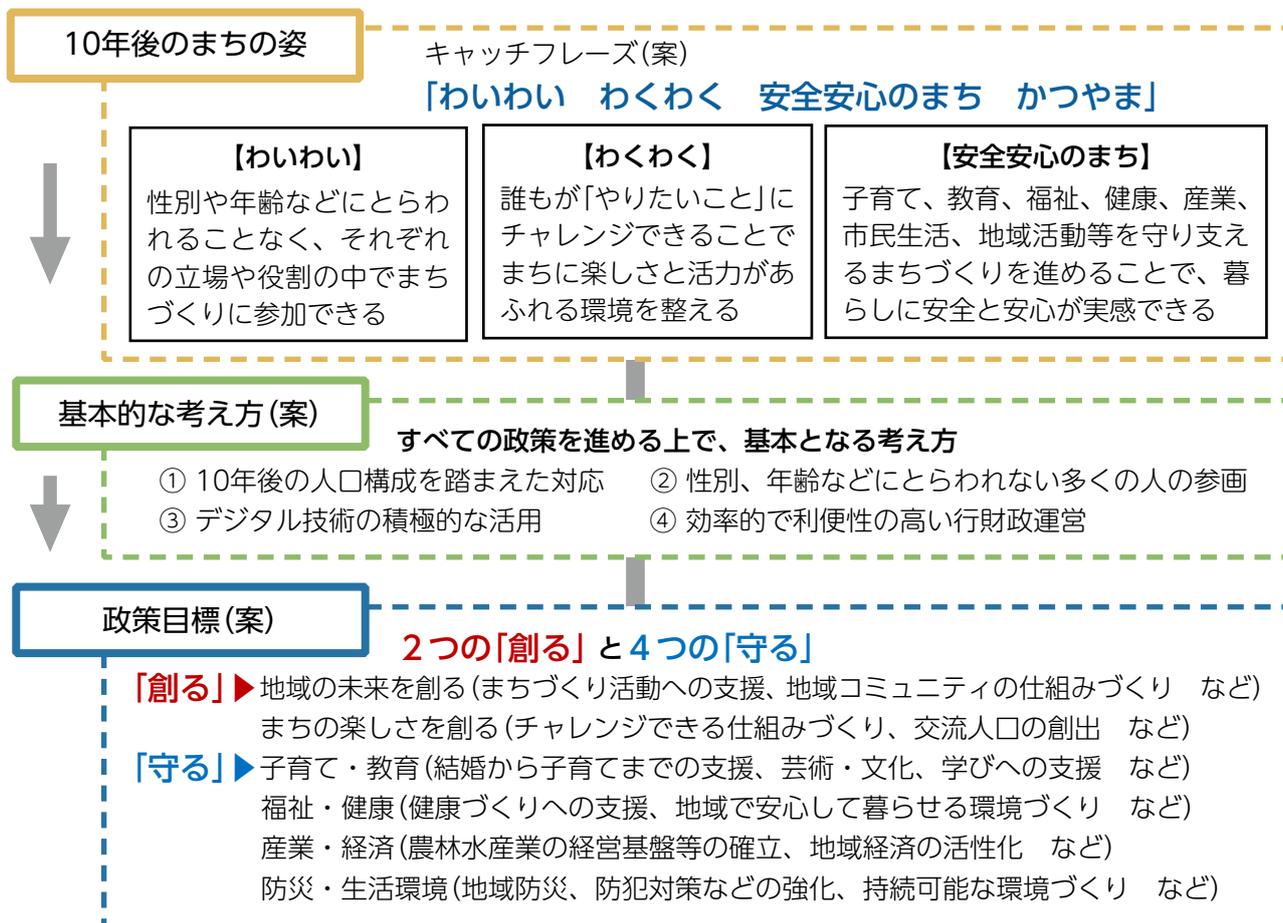


SDGsの目標も
関連付けて推進



総合計画の構成図

総合計画の構成について
第6次勝山市総合計画は「10年後のまちの姿」、「基本的な考え方」、「政策目標」の3つで構成します。また、政策を推進するための計画として、市が策定する各個別計画を位置付け、各政策目標には、SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を関連付け推進していきます。



特集 \ GIGAスクール構想 / 広がる学びの世界

GIGAスクール構想がスタートして1年が経過しました。今月の特集は、新しい環境で教え学ぶ、先生や子どもたちの教育現場をご紹介します。

世界から遅れていた日本の学校でのICT活用

世界の先進国38か国が加盟する国際機関「OECD」の学習到達度調査（PISA2018）によると、日本の学校の授業におけるデジタル機器の使用時間は、加盟国の中で最下位となっています。

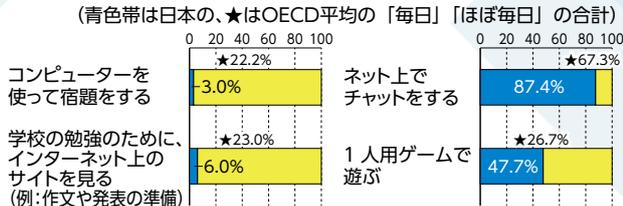
また、学校以外でICT（情報通信技術）を利用した学習は、平均以下となっています。（グラフ参照）

情報を活かす力を育む

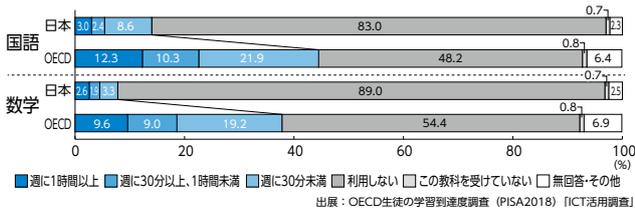
ICTの活用が進む現在、必要な情報が正しいかを判断したり、情報を上手に活用・発信したりする能力が重要となっています。教育現場では、情報活用能力が言語能力と同様に「学習の基盤となる素質・能力」と捉えられています。

そんな中、スタートしたGIGAスクール構想。多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むことができる教育ICT環境を目指すその取り組みは勝山市でも進んでいます。

学校外での平日のデジタル機器の利用状況



1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を利用する時間



勝山市の教育ICT環境

子どもたち一人ひとりへの対応や創造性を育む教育を実施

各小中学校では、それぞれの学校の状況に合わせた、クロームブックを活用した教育が行われています。

詳しくは次のページでご紹介！

小中学校に通う子どもたちに1人1台の端末を整備

勝山市では、クロームブック(Chromebook)を子どもたちに1人1台整備しました。

整備したクロームブックは、どこでもインターネットに繋がり、学習をサポートするアプリ（ロイロノート、クラスルームなど）も使えます。



試行錯誤の繰り返しですが、子どもたちの思考力や表現力を磨き、仲間づくりをサポートする手段として活用できるよう日々取り組んでいます。(子どもたちの呑み込みの早さには驚きです！)

鹿谷小学校
教諭 辻 さと子さん

GIGAスクール構想により、一人一台端末環境が普通となりました。タブレット端末は特別な機器ではなく、気軽に使える「文具」です。児童生徒は、鉛筆を短くなるまでたくさん使いながら賢くなっていくもの。タブレット端末だって同じです。各学校では今、タブレット端末の様々な活用を試みています。合わせて、情報モラルに関する学習や指導も重視しています。



視聴覚部会 会長
北川 喜樹さん
(鹿谷小学校 校長)

GIGA=Global and Innovation Gateway for All の略 (すべての子どもたちにグローバルで革新的な入り口を)

ポイント 01 つながる

市内外の学校との交流やオンライン学習などがこれまでよりも気軽にできるようになり、子どもたちは多様な意見や考えに触れています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、学校と各家庭とをオンラインでつなぎ、学習状況や健康状態などの確認も行っています。

オンラインで「登校」「朝の会」

夏休み期間中の登校日や休日の朝の会をオンラインで実施



他校と英語でオンライン交流



子どもたちが活用する機能や学習方法をご紹介
新たにできるようになったもののポイント

各小中学校では、主体的・対話的な深い学びを目指すため、学年や教科ごとに合わせ様々な形でクロームブック(以下タブレット)を活用しています。ここでは、その一部をご紹介します。

家庭の様子をインタビュー

家でも楽しく活用中!



鹿谷小学校 3年
佐野 幸音 さん

夏休みの間、なかなか会えなかった友だちとオンライン朝の会で話せてとても嬉しかったです。家では、お父さんにも教えてもらいながらクロームブックを使った勉強(キーボードで文字を打つ練習など)を頑張っています。

重要! 「情報モラル」 正しい活用方法を学ぶ

インターネットやSNSは、これからの時代に欠かすことができないツールですが、使い方によっては、危険な側面も含まれています。

各学校では、道徳の時間や警察の非行防止教室などを通して、子どもたちに、使うときのルールやマナーなどを伝え、子どもたちは、正しく安全に活用する方法を学んでいます。

勝山市ICT教育アドバイザーの松田さんが講師としてオンライン指導



伝言版アプリをプログラミング中
(勝山南部中学校)

取材した勝山南部中学校では、技術の時間に、プログラミングでローンを操作したり、簡単なアプリを作ったりする技術を学ぶとともに、課題を解決する力や自分から意見を発信する大切さなども学んでいます。

情報活用能力を育む
プログラミング教育
 ギガスクール構想以前より始まっていたプログラミング教育。ネットワークを活用する力や物事を論理的に考える力を養うために行われています。これまで専用の機器を使っていたりしましたが、一人一台のタブレットが整備されたことにより、より一層充実した学習が行われています。

ポイント

02 学びを深める

疑問に思ったこと、もっと知りたいことなどはすぐに検索・収集できるようになりました。更に、収集した情報は、「ロイロノート」の思考ツールを活用してまとめたり、お互いの考えを共有したりしています。

他にも、問題用紙の配布時間や黒板に書いて発表する時間などが短縮でき、学習時間の確保にもつながっています。



理科の実験結果のまとめ！
思考ツールで自分の考えを整理



配信された数学の問題に挑戦
早く解けたら次の課題へ

理解度に応じた個別学習も！

学習状況を把握しやすくなり、学習の理解度に合わせた対応にも取り組まれています。

学習意欲が向上

タブレットを使った学習は、子どもたちがより興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいると感じています。

今後もどんどん活用し、子どもたちの学習に役立てていきたいと思います。



学校の様子をインタビュー

成器南小学校
かみやま しんいち
教諭 上山 慎弥 さん

ポイント

03 表現・発信する

自分の考えや意見をクラスの全員と共有したり、発表したりする機会が増えるようになりました。子どもたちは、相手にわかりやすく伝えるための表現力や発信力を磨いています。



班内プレゼン

伝えたい内容を整理して、みんなに発表



考えや表現を発表

いろんな人の考えや表現内容をみんなで共有



平泉寺をご案内

タブレットでよりわかりやすく情報発信

今後も勝山市の子どもたちのために、引き続き教職員の定期的な研修を行い、新たな活用方法を模索していきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

これまでタブレットというと、児童生徒にとっては、ゲームや動画視聴などを行う「遊びのツール」というイメージが強く、実際にタブレットを持ち帰ることによって、悪影響をイメージされる方もいらっしゃるようです。便利なツールであるタブレットを学習に用いることで、知りたい、調べたい、伝えたいといった意欲が湧き、主体的で深い学びへつながっていると実感しています。その他にも、学校行事のオンライン配信やおたよりの配付など、家庭とのつながりもタブレットを用いて積極的に行っていきたいと考えています。



勝山市教育委員会
ひろた だいご
指導主事 廣田 大吾

自己ベスト更新に向け走り続ける



(写真左から) 黒原さつきさん(勝山中部中2)、
仁菜さん(勝山南部中3)、
木下ゆきさん(勝山北部中3)

市内の陸上競技クラブ「勝山アスリート」に所属する3人は、黒原さんは800m、印牧さんは1000mハードル、木下さんは1000mを専門とし、それぞれの種目で今シーズン県内中学ランキング1位の記録を持つ県内でも屈指のアスリートです。

「自己ベストが出たときの達成感がとても嬉しく走っています」と小学校から続けてきた陸上競技

への魅力を語る3人は、陸上競技に打ち込む仲間として、週5日の厳しい練習にも一緒に乗り越えてきたそうです。

黒原さんと印牧さんは、今月下旬に愛媛県で開催されるジュニアオリンピック(U16陸上競技大会)に出場予定で、「自己ベストを目指し、楽しく走ってきたいです」と笑顔で抱負を語っていました。

3人は、今後も北信越大会や全国大会での入賞を目指し、陸上競技を続けていくそうです。風を切るように走る3人の活躍がとも楽しみみです。



夕方から始まる練習風景
(鹿谷小学校グラウンド)

自然と向き合い、幸せを考えてみませんか



(右)野坂 弦司さん(84) = 北郷町森川 =
(左)ソナム チョキさん(27) = 北郷町森川 =

ブータンの雰囲気にした
いと思ひ、勝山に移転を
決めたそうです。

野坂さん自身もミュージアム移転後に勝山に移住され、コロナ禍でも定期的に訪れるお客さんや地域の方と交流を深めながら、楽しい日々を過ごされています。

「ブータンの人々は、厳しい自然の中でも、みんな支え合うことで、幸せな暮らしをされています。勝山の方々にも、ブータンのことを知ってもらい、本当の幸せはどこにあるかを考えるきっかけにしたいと思います」と素敵な笑顔のお二人からは、幸せが溢れでていました。

野坂さんは、昨年、福井市から鹿谷町保田に移転した「認定NPO法人 幸福の国 ブータンミュージアム」の創立者で、現在はミュージアムの説明人として活動されています。また、ブータン出身のソナムさんは、ミュージアムの隣にある音楽喫茶や農家民泊を経営する会社に勤務されています。

「勝山の風景は、ブータンととても似ています」と話す野坂さん。以前は、市街地のビルの中にあつたミュージアムを、より自然豊かな



蔵を改築してつくられた
ブータンミュージアム



近年、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみなどのつらいアレルギー症状でお困りの患者さんが、次第に増えつつあると思われる。アレルギー症状改善のための基本は、アレルギーの原因となる物質(アレルゲン)を避けることです。



アレルギー性鼻炎の治療法としては、一般的には症状に合わせた内服薬や点鼻薬の使用、それでも改善が乏しい場合は手術による治療があります。これらとは別の治療法として、アレルゲンを体内に少量ずつ取り入れて、体質を変えていく減感作療法(アレルゲン免疫療法)があります。

簡便で続けやすい

舌下免疫療法

減感作療法といえば以前は注射による治療法が主流でしたが、治療薬の開発により日本では2014年から舌下免疫療法

法が開始されました。

舌下免疫療法は、アレルゲンが配合された治療薬を毎日「舌の下」にしばらく含んでから飲み込み、少しずつ体質を変えていきアレルギー症状を和らげていくという、より簡便で続けやすい方法です。現在は、スギ花粉とダニに対する治療薬があります。最低3年間は毎日治療薬を飲み続ける必要があります、根気のいる治療法です。治療効果の程度は患者さんによって様々で、効果がでない場合もあります。



治療の開始時期は、スギ花粉は6月から12月までのスギ花粉が飛ばない時期で、ダニは1年中いつでもからでも開始できます。5歳以上の小児から治療可能ですが、重症の気管支喘息の方など治療を受けられない場合もあります。

舌下免疫療法をご希望される患者さんは、ぜひ耳鼻咽喉科でご相談ください。

ふるさとを訪ねて

地域文化を掘り起こそう

市史編纂室 山田 雄造

小笠原家の菩提寺開善寺

開善寺は南を除き周囲は石垣で囲まれている。西側の石垣は七里壁の一部で市の文化財となっている。19世紀初期の史料に「大蓮寺之方川縁石垣崩」などと、東から西に向け大蓮寺川が流れその浸食を受けるためか、「開善寺石垣」を築く史料が度々見られる。場所がよくわからないが「開善寺坂石垣」などともある。現在見る市内の七里壁の石垣より古い時代から開善寺周囲には石垣が築かれていたようである。

開善寺には市の文化財として「初代貞信の徒然草断簡」「長教勝山十二景木額」、そして「勝山藩主小笠原家廟所」も史蹟の指定を受けている。廟所の東には貞信以下歴代藩主(一部奥様の名も記名)墓が7基建つ。それを取り囲む形で南北と西には一族の墓も建つ。



小笠原家廟所

以下は余り知られていない開善寺の仏像に関わるものである。同寺は元禄4年(1691)、

貞信が美濃高須から勝山に移り、その時、広南和尚が随伴して勝山開善寺が創建された。織田顕行氏の論文によると、歴代の小笠原氏は入部先で開善寺を創建し、摩利支天像を安置した。摩利支天像は威光を神格化した仏法の守護神として知られ、戦国武将は軍神として崇めたそうである。

勝山の開善寺にも摩利支天像は河渥権現像を囲む形で、弁才天像とともに安置されている。木造の非常にいかめしいお姿の像である。製作は弁才天像と同じ宝永5年(1708)、靈空和尚の時代と考えられる。同像と同じく摩利支天像にも框裏書に同和尚の名前が見られるからである。仏師は宗連とある。

開善寺は現在無住であるが、年二回清掃活動などが行われていますのでご協力をお願いします。



摩利支天像

あの時聴いたメロディをレコードで

■9月18、19日 野向公民館



野向公民館学級「思い出のレコードを聴こう」。会場には約600枚のレコードが展示され、来場者はレコードから流れる懐かしい名曲に聴き入っていました。

自分だけの「恐竜ひょうたん」

■9月21日 鹿谷小学校



鹿谷小学校5年生が首の長い恐竜のような形をした「恐竜ひょうたん」の栽培や加工に取り組んでおり、この日はひょうたんの種や中身をくりぬきました。

お城で披露 左義長太鼓

■9月26日 勝山城博物館



勝山左義長ばやし保存会が勝山城博物館内で展示されているやぐらを使い左義長太鼓を披露しました。

コロナ禍の影響で左義長太鼓を披露する機会が失われているなか、左義長祭りの開催を願う気持ちがこもった演奏になりました。



学校祭で披露 ジェンダーレス制服

■9月2日 ジョアリーナ



制服による性差をなくそうと勝山高校が導入を決めたジェンダーレス制服。校則から男子服と女子服の規定がなくなり制服を自由に選ぶことができます。

全中バドミントン3位入賞を報告

■9月6日 勝山市役所



勝山北部中学校3年の野村雅人さんと宮川力也さんが市役所を訪れ、全国中学校体育大会バドミントン男子ダブルスでの3位入賞を報告しました。

山口茜選手がエースとして躍動 バドミントン 国・地域別対抗戦、 スディルマン杯で日本が準優勝



山口茜選手がフィンランドで開催されたバドミントンの国・地域別対抗戦、スディルマン杯に出場しました。この大会で、山口選手は女子シングルス代表として5試合に出場、全てストレートで勝利しました。決勝の中国戦では、

東京五輪金メダリストに競り勝ち日本チーム唯一の勝利をあげ、女子のエースとして活躍しました。